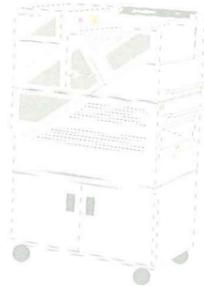


お客様にキレイな本を!



コミックご担当の方々を始め、たくさんみなさまに読んで頂きたいと思っておりますので、読み終わりましたらまだ読んでいない方へ回覧していただくと幸いです。

いつもありがとうございます。ダイ話 LETTER第14号をお送り致します。ダイ話 LETTERはお客様とより身近な存在でありたいことや、多くの書店様をご紹介できればという目的で発行しております。価値ある様々な情報を常にお客様へ提供していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

社長	専務	部長	課長	店長
コミック担当	各売場担当	アルバイトさん		

回覧サイン

ダイ LETTER 第14号

コミック包装機・コミックシュリンカーの  
DH 株式会社 ダイワハイテックス

## イチオシ新製品 News!

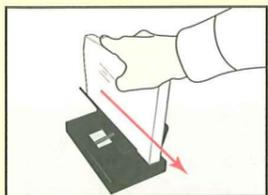
もっと簡単に、すばやく開封できる道具があれば、  
そんなお客様の声にお応えして誕生しました!

### 使い方は簡単!

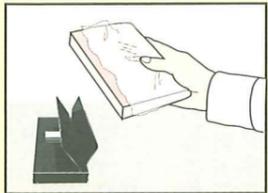
①シュリンクされた本の背表紙側を持ち、見開き側の面を必ずBOOK-SLIDEの可動式プレートとの間にぴったりつけるように置きます。



②そのまま本を手前に引くと、見開き側のシュリンクフィルムに切れ目がつきます。



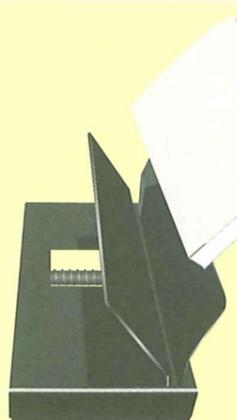
③完全に手前に引いたら、指でフィルムをずらすようにすると片手で簡単にフィルムをはがすことができます。



きっかけは当社に寄せられたお客様の声でした。その書店様の話に寄ると、レジでシュリンクされたコミックのフィルムをはがすために、本を丸めた状態にするのですが、その光景が商品を買うお客様側から見ると「あまり見たくない」という目で見られるようなものでした。そこで、綺麗にフィルムをカットし、商品をスムーズに手渡しできる画期的な道具が作れないか社内で検討しました。そして開発部で試行を重ねて出来上がったものが、この「卓上型シュリンク袋カッター BOOK-SLIDE」です。片手で楽にフィルムのみをカットし、見た目も美しく、またレジでお客様をお待たせしないスピーディーな作業が可能になります。

「シュリンクした商品を販売する際に、シュリンクフィルムのみをうまく破る道具などないでしょうか」

## NEW! 卓上型シュリンク袋カッター BOOK-SLIDE



スライドさせる動きもカッコいい!

- ・レジでお客様を待たせない
- ・すばやく綺麗に開封
- ・返品作業時にも最適

主な仕様

外形寸法: 幅8cm×奥行15cm×高さ7cm

重量: 470g

最大可動幅: 3.5cm (3.5cm幅までの書籍に対応)

希望小売価格

**6,825円** (消費税込)

(本体価格 6,500円)

好評発売中!!

また、用途はレジだけでなく返品作業などのバックヤードでも最適です。ぜひ、「BOOK-SLIDE」の効果をお試しください!

※ WEBで、使用中の映像を公開しています!!

Google ダイワハイテックス 検索



コミックシュリンカー RAPO Fullauto が

板橋製品技術大賞で優秀賞に選ばれました!



完全自動包装  
処理能力約1,400冊/1時間  
液晶パネル操作



《右》開発・設計係  
チーフ 高橋 正明  
《左》開発・設計係  
大久保 憲

「コミック専用の機械ということで、一般的にあまり知られる機会が少なかったため、このような公的な機関による製品技術に対する評価を頂いたことをとてもうれしく思っています。今後も書店の皆様にご覧いただきたい機械を開発していきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします!」

★表彰式の様子  
(写真左)  
弊社社長 大石 孝一



「板橋製品技術大賞」とは、板橋区内の中小企業による優れた新製品、新技術に与えられる賞で、今回優秀賞を頂いた「RAPOフルオート」は、「自動投入から包装までの操作が手軽に行う事ができ、店内に設置できるようなコンパクト化されており、市場性もある」という点が受賞のポイントとなつたそうです!

去る11月16日、板橋区内で開催された「いたばし産業見本市」会場にて「平成18年度 板橋製品技術大賞の表彰式」が行われ、今回弊社製品である「コミックシュリンカー RAPOフルオート」が見事優秀賞に選ばれました!



東京本社 お客様相談部  
お客様相談係  
太幡 和夫

初めまして、お客様相談係の太幡 和夫です。今年で入社10年目になり、あっという間に10年が過ぎた気がします。今まで技術として9年間仕事をしてきましたが、今年の2月から外回りになりました。今後は書店様のいろいろな悩みや問題を解決できる様に頑張っていきたいと思っておりますので、この顔を見たら是非声をかけて下さい。話は変わり、趣味の話です。週末はいつもサーフィンをしに行きます。波を待っている心が落ち着き、波に乗るとわくわくします。自然に感謝です。あと、社内で弱小フットサルチームを作って活動しており、男女混合チームで楽しくやっています。対戦相手募集と言いたいところですが、弱小チームなのでまずは練習です。これからも宜しくお願いします!

### 社員紹介

東京本社 お客様相談部  
お客様相談係  
川口 綾子



初めまして、お客様相談係の川口 綾子と申します。今年の4月に入社しました。現在営業事務の仕事を担当しています。この会社に入社し、毎日電話越しですが全国各地のお客様とお話しする事ができ、大変嬉しく思っております。テレビ等でもお客様の地名が出たりすると、親しみを感じながら見たりしています。入社してからあっという間の半年でしたが、社内では様々な変化がありました。社内の改装工事、制服の導入、新システムの導入etc.そして私自身も少しずつではありますが変化したと思います。入社当時の自分の会社HPに書いた文章を読んでも「何だか若いなあ」と感じます。これからもっと会社も私も進化できるように頑張ります。また、何かの機会にお会いできたらその時はどうぞ宜しくお願いいたします。

### 社長のつぶやき

代表取締役  
大石 孝一



弊社では年2回の賞与を現金で支給しています。ただし、手渡す時に賞与と引き換えに、前もって配布された書籍の読書感想文を提出しなければ貰えない事になってます。ちなみに、今回の本は鍵山秀三郎著「凡事徹底」です。掃除で余りにも有名になったイエローハットの創業者が「平凡を非凡に努める」ことが大切であると優しい言葉で説いています。創業以来四十数年、掃除をやり続けるという凡事の積み重ねが今日のイエローハットを築いたと書かれています。しかし、当時は鍵山氏が一人黙々と掃除をしていても誰一人として手伝う者がいなかったという話を聞いたことがあります。見かねて掃除を手伝うと言いつくす者が現れるまで17年の歳月が流れたという話を聞いていました。決して強制せず、自らの行動を促す為に、何年かかろうとも背中から教える姿勢に感銘を受けました。今の時代、目先の損得で行動し短期間に成果を求める風潮の中、結果よりもプロセスを大切にすることを、経営者として認識はしていても環境変化の激しい現状に気持ちは揺らぎがちです。著者の自己責任を追究する姿勢を少しでも見習い、自らの怠惰な意識を正當化すること無く経営に当たらないければならないと自戒する書籍でした。



「凡事徹底」  
鍵山秀三郎著  
致知出版社

今回から私がダイ話LETTERを担当することになりました。よろしくお願いいたします!



編集: 坂上 香織

DH 株式会社 ダイワハイテックス 注文専用FAX: 0120(056)740 (24時間対応)

東京本社: 〒174-0061 東京都板橋区大原町36-18  
大阪営業所: 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-2-1 ONKビル  
TEL 03(3558)8131(代) FAX 03(3558)8132  
TEL 06(6190)5731(代) FAX 06(6190)5732

URL <http://www.daiwa-hi.co.jp/> E-mail [info@daiwa-hi.co.jp](mailto:info@daiwa-hi.co.jp) [http://blog.goo.ne.jp/yasuko\\_daiwa/](http://blog.goo.ne.jp/yasuko_daiwa/)

# 今回の猫の手キャンペーン

猫の手キャンペーンとは？

新店オープンの準備には、猫の手も借りたいほど大忙し。お店の新しいスタートに、私たちも何かお役に立てることはないかな？そこで、得意とするコミックの包装作業をコミックシュリンカーRAPOLS IIやセキュリティーシュリンカーDOB0を導入して頂いたお客様へお礼を兼ねてお手伝いできれば、...そんな思いからスタートしています。

猫の手貸しますニャン♪



猫の手キャンペーン  
マスコットキャラクター  
キャッツハンドくん

## 紀伊國屋書店 ららぽーと豊洲店

今秋十月にオープンしたてのアーバンドックららぽーと豊洲。その3階に位置する「紀伊國屋書店 ららぽーと豊洲店」。今回は新店オープンについて、店長 酒井 雄三さんとコミック担当 中浜 闕子さんにお話を伺いました！

今回の「ららぽーと豊洲」自体がランドオープンという事で、沢山のお客様が来店されたと思えますが、どうでしたか？

はい、今回のこのランドオープンで開店当初は通路を通れないくらい混雑しました。ここの近隣の方ももちろんですが、遠方から来られた方も沢山いらっしゃいました。

お店作りをする上でポイントとなったところは？

他の店舗と違い、札幌本店や大分店に続き全国で3店舗目になる海外デザインによる空間デザインをしたことですね。広く奥行きのあるディスプレイでお店に來られるお客様がゆったりとした気分です。

コミックのディスプレイも他店との違いが？

はい、普通コミックコーナーは平積みが一般的ですが、こちらはお店自体のデザインの関係で平積みがほとんどないんです。その分どう見せるかが課題となってくるのですが、現在は面陳を沢山とったり、ストック管理をこまめに行うことで対応しています。

では、これからどんな書店作りをお考えですか？

やはりここ（豊洲）はこれから住む方が多く、どんどん人口も増えていく所だと思えます。その中で、このショッピングモールに訪れる、ご家族やカッパル、お子様からお年寄りの方まで、皆さんが気軽に足を運んでいただけるような書店を目指したいです。あと、今小学生で児童書を買っていただくお客様が、中学生になつたら参考書、大人になつたら小説など、一緒に成長していける書店になればいいなと思います。

最後に今回の猫の手キャンペーンについて一言お願いします。

新店オープンのうち、スタッフも新人さんが多いので、その中でコミックの包装を手伝っていただけるのは、冗談抜きでありがたいですね。

Q、どのくらい時間がかかりましたか？ また、何冊くらい積んでいますか？  
A、だいたい30分くらいです。普段の仕事の中での特等作業としてやっているのでもそんなに時間はかけません。冊数は200~250冊くらいです。

Q、ポイントを教えてください！  
A、とにかく1つのオブジェとして、これを見たお客様が驚くものを作りました。実際見た方はやはり驚かれますね。笑  
(コミック担当：井上様)

本の見せ方ひとつで売れ行きも変わっていく時代。全国の様々な書店さんが、日々「本の見せ方」を考えながら売り場作りに励んでいます。今回は、そんな素敵なディスプレイ作りを力を入れている書店さんをピックアップしました！



入り口にはモダンで落ち着いた雰囲気のある空間デザインが施され、とても印象的な作り。特に天井が素敵です！



お忙しい中どんな質問にもとても親切・丁寧に答えてくださった  
《右上》店長 酒井 雄三さん  
《右下》中浜 闕子さん  
中浜さんは以前新宿フォレスト店で勤務してコミック担当の大ベテランです！



最新機種RAPOfullautoを前にシュリンク風景を撮影。その他PIK0300sやLS IIについても熱心に取材されていました。



メロンブックス 札幌店  
見た人は絶対足を止める迫力のディスプレイ。ここまでだと芸術です！  
紀伊國屋書店 ららぽーと豊洲店  
紀伊國屋書店 札幌店

## ディスプレイ特集

こちらは中国上海の書店のディスプレイ。さすが装飾技術力の高い国だけあって、本の見せ方にもこだわります！本を取っていくのがすこしもつたない気も？！しかしながら目立ち度は大です☆

北海道にある紀伊國屋書店 札幌店（写真左）と、東京にある紀伊國屋ららぽーと豊洲店（写真右）札幌店の方は夜になると窓際に配置された本たちがライトアップされて綺麗！豊洲店の方も入り口にある大きなオブジェに本が置かれ、回転する仕組みになっていました☆



他にもいるんなら積上げ方発見！！

# PICK UP!

古くからの城下町として今も多くの観光客が訪れ、「わんこそば」が郷土料理としても有名な岩手県盛岡市。今回は、東山堂イオン盛岡南店 店長 澤田 晃寿さんと、コミック担当の引屋敷さんにお店のことや包装についてお話を伺いました。



東山堂 イオン盛岡南店  
岩手県盛岡市本宮字稲荷10-14(岩手県南303-7) 9F  
ホームページアドレス: http://www.tosando.co.jp/  
店舗情報 総書籍数・・・20万冊  
売場面積・・・330坪 コミック冊数・・・3万冊



《右》店長 澤田 晃寿さん  
《左》コミック担当 引屋敷 好恵さん

お店の中で一番力を入れている所、また、コミック売場を力を入れてある点やポイントをお話下さい。

広く通路を作り過ぎず、長く長い時間お店にいて頂く店作りを心掛けています。たとえば店の前にパブリックスペースを設けたのですが、そこから見える岩手山は絶景です。また、コミック売場では既刊本をうまく回す事に気を使っています。それとサイン会などを設けてお客様を集めるようにしています。



まるで図書館にいる様な感覚になる店内は、ウッド&モスグリーンの効いた落ち着いた雰囲気です。



お店を出ると誰でも自由に利用できるパブリックスペースが、ここで買った本を開けて勉強するお客様も多いそうです。岩手山の景色も綺麗！

他書店との差別化や、今後のようなお店作りをお考えですか？

まずは雰囲気の良い書店作りを心掛け、買い物帰りに気軽に立ち寄れるお店にしていきたいです。今後はさまざまな仕掛け販売も検討中です。

最後にコミックシュリンカー「RAPOLS II」を使用した感想やダイワハイテクスについて一言お願いします。

以前はPICKOを使用していたのですが、袋入れの早いベテランさんよりもLS IIは早く良いですね。袋を選ばなくて良いというのもポイントです。雑誌の手差し機能を使って包装できるのはとても助かります。ダイワさんの対応については、シュリンク袋が注文後にすぐ届くところがとても頼りになりますね。



RISE 美盛堂  
北海道美幌市東三条3-7-1  
店舗情報 総書籍数・・・4万冊  
売場面積・・・250坪 コミック冊数・・・1万冊

寒い季節になると、野鳥「マガン」が飛来することで有名な北海道 美幌市。今回は、RISE 美盛堂 田岡 徹也社長と、コミック担当の鉢呂さんにお店のことや包装についてお話を伺いました。



《左》弊社BOOK事業部長 坂本  
《中央》田岡 徹也 代表取締役  
《右》弊社代表取締役 大石



コミック売場で一番力を入れている所、また、どんなお店か聞かせてください。

創業は明治42年11月です。本や文具の他、CD、DVD販売やレンタルも取り扱っています。コミック売場でもテレビ化のコミックに重点を置き、品揃えを強化しています。

お店の場所が北海道美幌市というのですが、どのように来られるお客様は？

美幌は今時期、宮島沼にシベリアへ越冬する為に沢山の野鳥（マガン）が飛来することです。これは、積雪も多く雪かきに追われる日々が続きます。また、客層は



大変お忙しい中、取材へのご協力、本当にありがとうございました！

最後に、他書店との差別化や、今後どのようなお店作りをお考えですか？

客層が小・中学生や家族連れが多いので、これからも明るく、小さい子でも安心して本が選べる店にしたいです。

今までのコミックの包装形態と、今回導入された「RAPOLS II」を使用した感想をお聞かせ下さい。

今まで手作業で包装していたので時間もかかり、店頭で並ぶのが遅くなりがちでしたが、今ではとても綺麗に、あつという間に出来上がってしまうので、とても楽しみながら使わせていただいています。棚に並べても綺麗に見えるので整理も楽になりました。

小さいお子様からご年配の方まで幅広く、週末になると家族連れのお客様が朝から沢山ご来店いただいています。

色んな質問に丁寧に答えていただきました☆  
コミック担当 鉢呂さん